

着物リメイク
蔵風香

その価値に気づいた人は、心があたたかくなる

継ぐ

ツナグ



platine



着継ぐ それが 着物リメイクの使命

上質で高級感も溢れる着物、その生地にも目を向ければ美しい光沢が、直接触れてみれば何とも言えないなめらかな肌触りが、それは「絹糸」という蚕(かいこ)から作り出される糸から始まり、先人の奇跡ともいえるさまざまな技術、工程を幾重にも重ねて、反物からこの一着に仕上がります。

そして今、着物のままではタンスの中で眠るばかり、光を当て風を通してあげませんか、着物はほどいて縫い直す「もったいない」の心も宿した日本人らしいクラフトです。



手から手へ

蔵風香の

オーダーメイド

着物を仕立て直して良いものか、
リメイク後の洋服は着こなせるのか、
着物リメイクは、アップサイクリング、
例えば、

ひらひらと風に舞うような

Aラインのワンピースへ…

形を変えるのも着物の価値です。

貴方らしく、誇らしく、

この世に一着しか存在しない至福感と

思いをまとう姿をイメージしましょう。

手から手へ、人から人へ

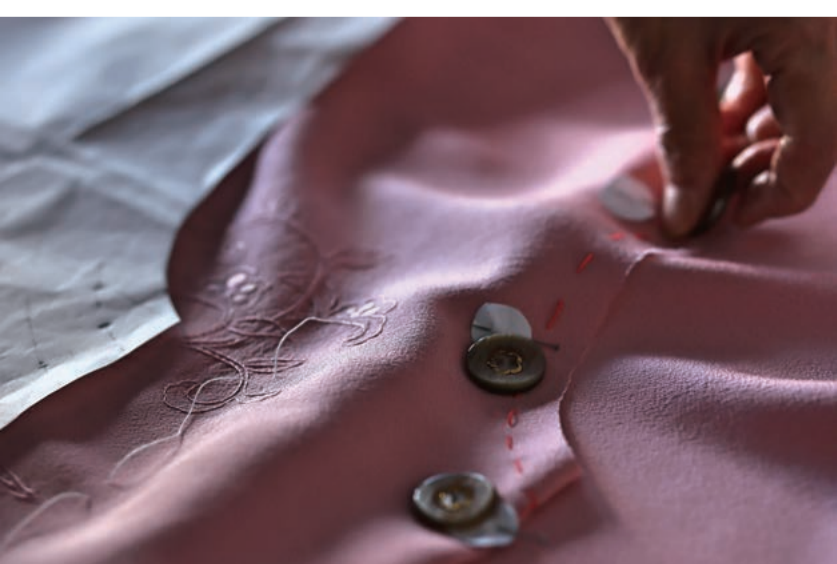
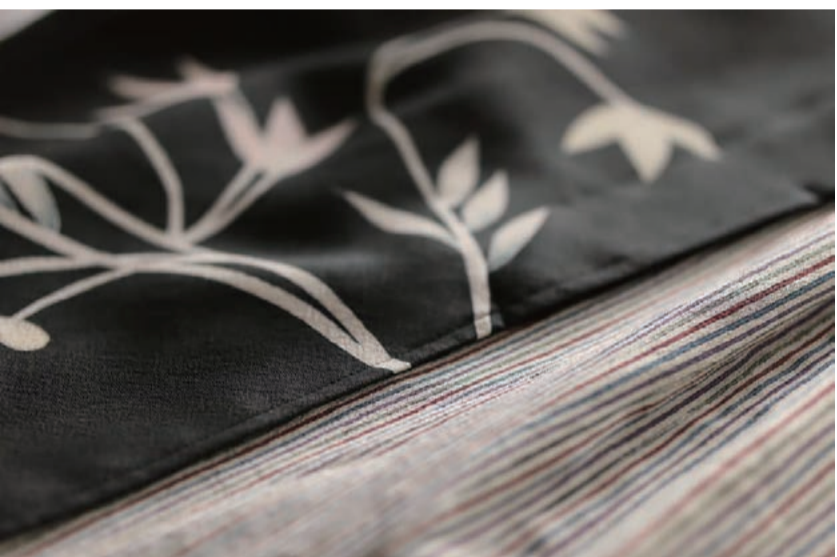
「着継いでいく」

それが蔵風香の着物リメイク。

ごいっしょに楽しんでみませんか、

その価値に気づいたあなたは、

心があたたかくなると思います。



着物リメイク ブライダル
それは、振袖から

kimono
remake
BRIDAL



だから、着物で
ドレスを作る



女性を美しく華やかに輝かせてくれる着物。

蔵風香では、お客様の思いをそのままに唯一無二の
洋装へ、オーダーメイドで仕立てています。

二十歳の記念に着る「振袖」、思い返せば…

「お母さんと一緒に納得がいくまで選んだあの日」

「成人式へ、娘の晴れ姿を送り出す両親の笑顔」

「着る機会も最後か、ぎこちなかった結納」と

「振袖」には見ればこみ上げる家族の気持ち

が詰まっているのではないだろうか。

人生の節目を包んできた「振袖」には、

まだ傍で彩り見届けていただきたい大切な仕事

が残っています。

それは、ウエディング。

私たちが万感の思いを縫い合わせ

「振袖ウエディングドレス」に仕立てます。

世界一幸せな舞台のお手伝いを

蔵風香が心をこめて。



拍手が聞こえます。
それも、温かな愛情に満ちた
みんなの幸せな顔が見えます。
きっと、私が愛に包まれているから

どう、私の選んだ、
色あざやかな
ウエディングドレス

100回「ごめんなさい」
100回「ありがとう」
の言葉に代えて

ブライダルシーン 着物リメイクあれこれ



黒留袖からドレスへ

新郎新婦のお母様、お祖母様の着用が多いリメイクです。裾の反物幅を目一杯広げて、優雅なフレアが印象的。袖の片方にも柄を配し、華やかさもあるデザインです。



振袖からセットアップ

新郎新婦のご姉妹や、ご友人などに多いリメイクです。ボレロとラップスカートの組み合わせ。全体的に華やかな柄がある振袖ですが、洋服として着用の際のバランスを考え上下の柄の配置に強弱を付け、より印象的な仕上がりに。



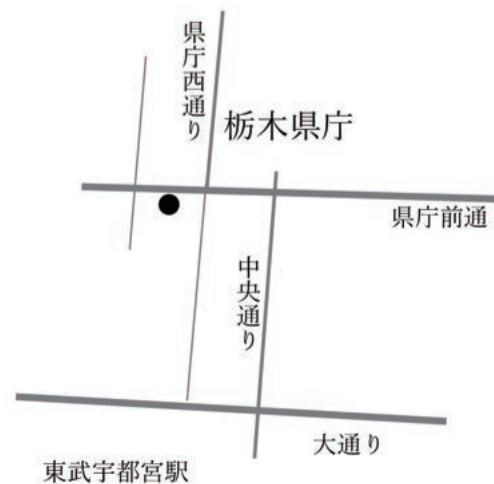
付下げ・小紋着物からドレス

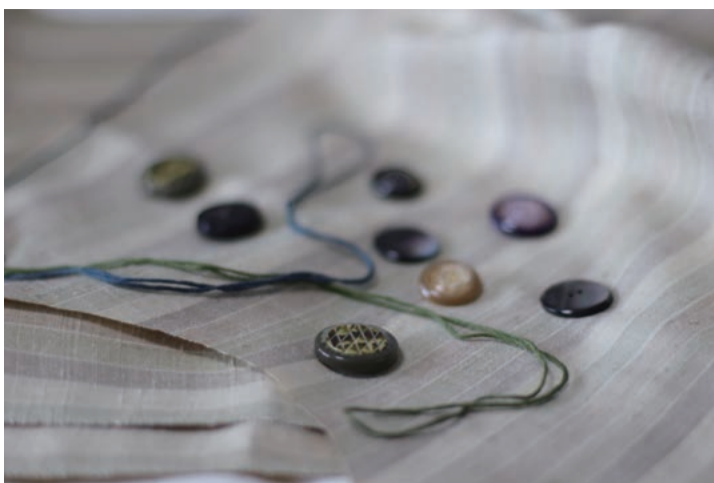
新郎新婦のお祖母様、叔母様の着用が多いリメイクです。落ち着いた色味の濃淡で表現された印象的な生地をシンプルなラインで仕立てました。立体的な襟が付いた小さめの首周りも人気です。

蔵風香Information

〒320-0033宇都宮市中央本町9-4石ビル2F

TEL090-8043-9271





伝えたいこと

その先のお客様を想う。

「どんな思いでお客様は着物を持ってきたのだろう」
蔵風香はここから向き合います。

「どんなシーンでお召になるのだろう」
蔵風香は着姿を想像して描きます。

オーダーメイドで十五年の経験をしてきたとは
言え、何年経っても一期一会、

「ご要望に合っているかな？」

「お客様の骨格に合わせた着心地は？」

「こんなデザインはどうだろう？」

などと、毎回毎回、頭を白紙にして考えます。

おかげさまで、最近はこちらにお任せいただける
ことが多くなってきました。

これからも、ご信頼いただけるお客様といっしょに、
日々一歩前へ、

日本の素敵な文化「着物」を

次の時代へと繋いでいきたいと思っています。
人生最高の一着へ。



YouTube



Facebook



ホームページ



ショッピング



Instagram



LINE





「魔法の手は現在」

さくら市で開催している、蔵風香の細工教室。

もう教室開始から、15年。

長い生徒さんは、15年間も通ってくれている。

出会った頃は、着物や古布も並べていた蔵風香。

抜群のセンスで作品を作るお客様に声を掛けて、

先生になってもらった。

それが、岡田初江さん。

15年で、生徒さんは1000人以上。

ヴォーグ社主催のお細工物甲子園に、2点出品、2点入選の

快挙を果たしたりと振り返ると結構凄いな。

本日は、お客様からのご依頼で、思い出の帯を飾り物に変えたいとの事。

「是非、先生に作ってもらいたい。何でも良いです、お任せします。」

ああ、この「お任せ」に弱い私。

そんな訳で、教室終わりに打ち合わせ。

紺のワンピースにジャケットのワントーンコーデで、シルバーヘアも

すっかり自分のファッションに。

15年で、大先生の風格。

この帯を使って、どんな仕上がりになろうかな。。。

一緒に色のコーディネートをしている時が、あの頃から一番楽しい時間。

もう、仕上がりを楽しみで仕方がない私。

いつも、わくわくをありがとう。

Facebook サトウ ナオコ 2022.11.11 より

